

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	地域活性化措置	美濃市清掃センター運営事業	美濃市	17,245,440	4,400,000	

(備考)事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	地域活性化措置	美濃市清掃センター運営事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		美濃市		
交付金事業実施場所	美濃市内			
交付金事業の概要	市内全域の可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ等の回収業務等を行う、美濃市清掃センターの運営費(職員13名分の人件費)に活用しています。			
総事業費	17,245,440	交付金充当額	4,400,000	
		うち文部科学省分 うち経済産業省分	4,400,000	
交付金事業の成果目標	美濃市では、不法投棄問題の解消が課題となっており、これを解決するためには、安定した職員数を確保することが必要であります。そこで本交付金を活用し、職員を確保することで、不法投棄物の回収・調査、市民からの相談・通報への対応を強化し、市民が健康で快適な生活環境を保つことが目標となります。			
交付金事業の成果指標	本交付金事業によって成果目標を達成するには、安定した職員数を確保することが必要となります。平成28年度には、本交付金の充当により新たに職員を2名確保することができました。引き続き、本交付金を活用することで平成29年度以降も同水準を維持することとします。			
交付金事業の成果及び評価	<p>ごみの収集量(7月から12月):可燃ごみ=1,817,630kg、不燃ごみ=128,740kg、粗大ごみ=23,640kg 不法投棄対策(7月から12月):収集件数=11件、看板設置=5ヶ所</p> <p>交付金の充当により、平成28年度と同水準を維持できたことで、通常のごみ回収業務だけでなく、不法投棄多発地帯への看板設置やパトロールの強化など、不法投棄に対する取り組みを強化することができました。不法投棄件数については前年比2件の減少となり、より快適な生活環境を保つことができました。</p>			
交付金事業の契約の概要				
	契約の目的	契約の方法等	契約の相手方	契約金額
	人件費	雇用	美濃市清掃センター職員 13名	17,245,440
	計			17,245,440
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無	無		交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	H33

(備考) (1) 事業ごとに作成すること。

(2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。

(4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

(5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

(6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

(7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載すること。